

海外日本紹介映画コンクール  
優秀作品賞 受賞  
通産大臣賞 受賞

パリス国際映画祭「ゴールデンメッキイ賞」  
モンザ産業工芸映画祭「グランプリ受賞」

Handicrafts — Beauty of Japan.

# 手工芸品

## — その日本美

イーストマンカラー 2巻

企画 日本商工会議所  
日本貿易振興会  
製作 桜映画社

### 製作スタッフ

製作	村山英治
脚本	村山祐治
監督	金子精吾
撮影	金子精吾
照明	山根重規
音楽	岡田茂夫
編集	長谷川宣人
助監督	久保治男
撮影助手	身内哲雄
製作主任	白須光子
録音	日本録音KK
現像	東洋現像所

### 解説

この映画は、日本の手工芸品の特徴を世界に知らせるために作られたものである。

日本は手工芸品に大へんめぐまれている。従ってそれを全部見せようとしたら恐らく雑貨店の店先のようになってしまうだろう。しかし、たった一つにしばって見せることは、この場合許されなかった。或程度製品の紹介というような目的があった。

そこで、雪の多い北国を代表して、郷土玩具こけし人形を取上げて、日本の手工芸品の特徴の一つである『形の単純さ』を描き、中部山岳地帯を代表して漆器「飛騨春慶」に、「素材の美しさを生かす」という繊細な感覚をあらわし、西部で和紙をとりあげて、日本の手工芸品の「あたたかさ」を出し、南の九州を代表して竹

製品を描いて日本人の手の器用さを如実に示した。そして、全体を貫いて風土性というものをあらわすように心がけた。

製作に当っては、とくに東京博物館の岡田謙氏、千葉大教授小池正太郎氏、その他の方々にも御指導をうけた。(上映時間二一分)

### ストオリイ

① 日本のデパートには、近代的な工業製品といふしよに、豊富な手工芸品が並んでいる。

これは外国のデパートでは見られないことで、私たちの日常生活の中には今日もなお昔ながらの手工芸品がいかに多いかを物語っている。

これらの手工芸品の多くは、地方で生産され、しかも長い伝統をもっている。

② 一年の三分の一を雪でおおわれる東北地方。積雪に町の雑音を吸収された静かな町通りに

は、毎朝野菜や魚や日用品の市が立つ。その中にまじる素朴な郷土玩具。さびしい自然にめげず、遅く生活している人々は、素材で明るくて愛情のこもった様々の郷土玩具を生み出してきた。

手も足もない、頭と胸だけの人形——こけし。こけし人形のシンプルな造型には、雪に閉じこめられた人々の願いと、瓦土の中で凝縮された手工芸品のもつ道力が感じられる。

③ この単純さわかるこけしが、また実に豊かな表情をたたえているではないか。

④ 日本の屋根といわれる中部山岳地方の一つ、飛騨には、古くから「春慶」といわれる、ユニークな漆器が生産されている。それは松や樅の木目の美しさを生かし見せる独特な漆器だが、この素材の美しさを生かすという感覚が日本の手工芸品の一つの特徴といえる。

このように自然の美しさを生かす繊細な美的感覚によつて、一つの竹器も丹念に仕上げられてゆく。そして、漆が充分に沈着すると、木目の美しさは頂点に達する。

⑤ 日本の西部、日本文化の発祥地であり神話の舞台である「出雲」地方には、すぐれた和紙が古くから作られている。

日本紙を作るには、先づ水がよくなければならぬ。そして楮や三椏や雁皮という植物の繊維で作られた紙料を、一枚一枚心をこめて生地、にデザインしながら漉く。

日本紙は用途に従つて様々な種類が各地で生産され、実にいろいろな形で日本人の生活に利用されている。

⑥ 竹もさまざまな種類があり、またその地方地方の用途に従う独特の竹製品が方々にあるが、九州地方の竹林と竹製品は殊に名高い。

竹は堅くて強靱で、弾力性に富んでいる。この特徴を生かしながら、日本人はその器用な手で数々の生活用具を生み出してきた。

一本の竹——この単純な形をしたものから、優雅な無数のデザインを生み出す竹細工を見てみると、日本の手工芸に共通する日本人の手の器用さに打たれる。また、暖かな人同味に発した、きわめて巧緻な技術にふれる思いがする。

⑦ 繊細な造型感覚によつてみがかれてきた日本の手工芸品の伝統な技術は、高い芸術性をも持っている。

⑧ 日本の手工芸品の特徴は、形の単純さ(シンプル)。あたたかさ、素材の美しさを生かす独特な感覚、にあるといえるだろう。